

令和3年南アルプス市議会第3回定例会（9月）

市長説明要旨（抜粋）

本定例会における議案の説明に先立ち、これからの市政運営の取り組みについて、所信の一端を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、国内において、これまでに経験したことの無い猛烈なスピードで感染が急拡大している状況であります。まん延防止等重点措置地域に初めて適用されるなど、山梨県内においても、過去最多の新規感染者が発生しており、本市としましても、県と連携する中で、防災無線による市民への外出自粛の呼びかけや、市内公共施設の臨時休業措置を執るなど感染対策を講じ、爆発的な感染拡大を徹底して抑え込むため、強い危機感を持って対処しているところであります。

新規感染者を見ますと、高齢者の新規感染率が抑えられており、感染収束には、ワクチン接種が最重要であると認識するところであります。希望する高齢者のワクチン接種は概ね7月末日までに終了し、64歳以下の方について、順次接種を進めており、一日も早い感染収束に向けて、ワクチン接種に全力で取り組んでまいります。

今後の各種イベント等については、総合防災訓練を9月5日に予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染が急拡大している状況により、全面中止といたします。また、市制施行記念式典については、令和元年度に開催方針を見直し、今年度は、開催年度となっておりますが、コロナ禍による状況を踏まえ、招待者や内容等、規模を縮小する形で、12月5日の開催に向けて準備を進めてまいります。

続きまして、現在、進めております主な政策につきまして、まずは、中部横断自動車道開通効果に関連する重点事業について、ご説明申し上げます。

中部横断自動車道の「静岡―山梨間」の全線開通を間近に控え、交通の要衝として、そのメリットを最大限に活用し、市政の更なる発展と、より良いまちづくりに向けて鋭意努めてまいりたいと、決意を新たにしているところであります。

はじめに、「南アルプスIC新産業拠点整備事業」についてであります。

本事業を取り巻く環境や、社会情勢等を総合的に判断する中で、10月1日から公募を開始することといたします。年度内には、優先候補者を選定し、来年度当初には、参入事業者を決定する予定で進めております。

一方、新たな土地活用が期待される南アルプスIC周辺については、市が目指すまちづくりの実現に向けて、更に調査研究を進めてまいります。

次に、「工業団地拡張整備事業」についてであります。

企業の用地需要が増加している現状を踏まえ、本市東部に位置する下今諏訪工業団地及び、北部に位置する御勅使南工業団地2箇所の拡張整備事業を進めております。

現在は、地権者の同意を得て、現地測量や立木調査、土質調査などを順次実施しており、今後は、これらの調査結果をもとに、用地交渉を進めてまいります。

中部横断自動車道の開通により、物流をはじめ、ヒトやモノが迅速に移動可能となる環境が整いますので、この好機を逃さず、積極的な企業誘致に取り組んでまいります。

続きまして、公約に掲げた五つの約束の取り組みとあわせて、今年度実施中の主要事業について、ご説明申し上げます。

1点目は、「子育て支援のさらなる推進」についてであります。

市内小中学校におけるGIGA授業開きは、6月までに全ての学校で完了し、一人一台タブレット端末を使った授業を、順調に開始しております。また、夏季休業中から9月末までの間には、児童生徒、保護者、教職員が、オンデマンドで動画を視聴できる情報モラル教育講演会を実施し、適切なICT活用に向けた取り組みを進めております。

落合小学校外構及びグラウンド整備工事につきましては、昨年度までに、校舎の大規模改造工事を終え、今年度からは、外構及びグラウンド拡張整備工事を実施しております。

八田児童クラブ新築工事につきましては、6月に工事請負契約を締結し、9月中旬までに基礎工事を完了、12月には建方工事、家具工事、外構工事等、全ての工事を完了する予定となっており、令和4年度からの利用開始に向け、準備作業を進めてまいります。

2点目として、「健康・長寿のまちづくり」についてであります。

昨年度に引き続き、高齢者熱中症予防対策事業を実施しており、75歳以上の高齢者の方に対しまして、飲み物引換券を、7月下旬から配布させていただき、熱中症予防への対応及び注意喚起を図っております。この夏も、感染症対策により、自宅で過ごす時間が多くなることが考えられますので、適切な水分補給に努めていただきますようお願い申し上げます。

3点目として、「ユネスコエコパーク事業の推進」についてであります。

今年度、市内すべての小学校において、授業の中でユネスコエコパークについて学ぶ機会を設けております。既に、市内小学校の10校で授業を実施しており、学校周辺の自然や、実際にエコパ伊奈ヶ湖の周辺を歩き、専門ガイドによる自然体験プログラムを通じ、自ら地域資源を見て、学び、感じる機会を創出しております。

SDGsの取り組みにつきましては、将来に亘って持続可能な発展を遂げるためにも、この南アルプスの緑豊かな自然を守り、自然と共生した活動を続けていくことが重要であり、本市としても、SDGsへの理解を深めていくための研修会などを数多く開催し、効果的な市政を運営してまいります。

4点目として、「豊かで活力あるまちづくり」についてであります。

過疎地域持続的発展計画の策定期期の変更につきましては、地域の声を適格に計画に反映するという方針のもと今年1月から、地域住民、地域団体等とのヒアリングや意見交換会を重ね、9月議会への上程を目途として準備作業を進めてまいりました。しかしながら、山梨県策定方針が示されましたのが、7月に入ってからであり、計画素案を地域や市議会に説明した後に、意見を反映する協議期間を考慮し、策定期期の変更をするものであります。

観光プロモーションにつきましては、今年度も、コロナ禍ではありますが、引き続き東海、中京圏及び長野方面に向けて、南アルプス市産の旬の果物を活用し、積極的にプロモーションを実施しております。今月は、道の駅富士川楽座や伊豆の国市の朝市において、桃・スモモの販売会を実施しており、中部横断自動車道の静岡―山梨間の開通による交通アクセスの向上を積極的にPRし、南アルプス市を多くの方に知っていただけるよう取り組んでまいります。

広河原山荘改築事業につきましては、令和3年7月末時点において、進捗率は、85パーセントとなっております。順調に進みますと、9月下旬までには、完成する見通しであり、令和4年6月上旬に落成式を実施し、6月中旬のオープンを予定しております。

5点目として、「行財政改革のさらなる推進」についてであります。

市では、令和3年度から南アルプス市内部統制制度を試行導入いたします。今年度は、財務に関する事務について一部先行導入し、各部署で想定されるリスクを設定し、一年を通してのモニタリングから評価までを実施するにあたり、職員の意識の醸成や、制度への理解を深める機会とするため、全職員を対象として、順次階層別に研修を実施しております。

未曾有のコロナ禍は、忍耐の期間であり、市民の皆さまには、大変ご不便をおかけしておりますが、本市における追い風を確実に捉え、地方創生に繋げていくため、より促進すべきは積極的に強化し、実効性のある成果を高めていくことに重点を置き、市政推進に努めてまいります。

続きまして、本定例会に提出いたしました案件につきまして、ご説明申し上げます。

提出いたしました案件は、条例案8件、予算案7件、議決を要する案1件、市道路線に関する案2件、地方公営企業事業会計利益剰余金の処分に関する案1件、同意案1件、決算の認定案18件、合わせて38件であります。

詳細につきましては、総務部長、総合政策部長、会計管理者、企業局長から説明いたします。